

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年11月28日更新

事務事業名		読書講座実施事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会	課長名	北里 利朗
	施策	10	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名	森田 由貴恵
	施策の柱	37	学習の啓発と参加機会の提供		所属班	生涯学習班	(内線)	2557
予算科目	会計一般	款10	項5	目8	事業連番10801	根拠法令	図書館法第3条(図書館奉仕)、合志市立図書館条例第5条	成果優先度評価結果: ② コスト削減優先度評価結果: ①
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	図書館利用者一般向けに、平成8年から開始した文学講座である。作品を楽しみ、身近に感じて頂く目的で、テーマに沿った作品を講師がわかりやすく解説をしていく。本年度は、講師の変更があったが、講座の内容がよいので、継続する。また、本年より新しい試みとして、参加者によるビブリオトークを実施した。 行政改革大綱や集中改革プランにより平成29年度より指定管理者制度を導入。本事業は、指定管理業者に移行される。平成29年度より図書館管理運営委託事業(11716)に統合
【業務の流れ】	講師依頼・参加者募集チラシの作成及び配布、申込受付、会場の手配・設置、資料の作成・受付、謝金の支払事務
【主な予算費目】	報償費(講師謝金)
【意見や要望】	個々の活動である読書が、講座では参加者同士が感動を共有できる場となり、読書を介した人間関係が出来て楽しいと喜ばれている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)	熊本地震の影響により、当初3回の予定であったが2回に変更。開催場所は、2回とも西合志館の集客室で行う。	29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		行政改革大綱や集中改革プランにより平成29年度より指定管理者制度を導入。本事業は、指定管理者に移行される。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人	予算の主な増減の理由
→ア:参加者見込み人数	人	(11716) 図書館管理運営委託事業 に統合されるため。
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		→ア:参加者数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	本に触れ親しむ機会をつくり新たな読者層の開拓を図る。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		→ア:参加者見込み人数に対する参加者数の割合
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・参加者見込み人数に対する参加者数の割合により、図書館利用者の文学作品に対する関心度と講座への参加機会の公平性が判断できるため。		全体計画
・会場の都合上、1回の講座に40名程度の参加者が望ましいと判断したため3回×40名より算出した。		～年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	人	68	91	100	35				
②対象指標	ア	人	68	91	150	35				
③成果指標	ア	%	68	91	80	100				
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	20	20	30	20			
		(A)事業費計	千円	20	20	30	20			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	3	3	2	3			
延べ業務時間	時間	123	223	0	403					
(B)人件費計	千円	490	827	0	0					
トータルコスト(A)+(B)	千円	510	847	30	20					

事務事業名	読書講座実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 講師の都合により、開催日が平日であることも利用者が参加できない要因のひとつとなっている。また、以前からの参加者が高齢化してきていることと、会場設定にも課題がある。また、平成28年度は年3回開催予定だったが、熊本地震により2回に変更した。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成29年度より指定管理者制度導入し当事業は(株)こうし未来研究所へ移行される。一度参加した方は、リピーターになるなど人気の講座である。常連の参加者に加え、若年層にも積極的に周知することで参加者増加の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成29年度より指定管理者制度導入し当事業は(株)こうし未来研究所へ移行される。参加者が何から情報を得て参加しているのかを調査し、周知方法を工夫する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成29年度より指定管理者制度導入し、当事業は(株)こうし未来研究所へ移行される。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度の導入により削減の余地あり。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度の導入により削減の余地あり。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 図書館法により無料の原則に則って運営している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 指定管理者制度の導入により見直しの余地あり。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

講座において、参加者に本に触れ親しむ機会を与えることができた点については十分な成果があった。指定管理者に事業継承され、さらに事業が拡大されると期待している。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) <b>指定管理者に事業継承</b>	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						